

研究機関: 広島大学

<b>研究課題名</b>	類内膜癌の新規バイオマーカーとしての CDC20、PDLIM1 及び PTPRF の有用性に関する研究
<b>研究責任者名</b>	広島大学病院 病理診断科 教授 有廣 光司
<b>研究期間</b>	2022 年 2 月 4 日(倫理委員会承認後)～ 2026 年 3 月 31 日
<b>対象者</b>	2015 年 1 月から 2020 年 12 月の間に、類内膜癌疑いや類内膜癌と診断され検査や手術を受けた患者さん
<b>意義・目的</b>	<p>CDC20は、細胞周期の紡錘体形成チェックポイントに関与することが知られ、肺、肝、乳腺、膀胱などでの研究はあります。PDLIM1は、炎症反応を抑制したり、エストロゲン受容体と相互作用すると報告され、PTPRFは、受容体型チロシンフォスファターゼであり、細胞接着の維持や細胞増殖の制御に関与することが指摘されています。しかしながら、これらの蛋白質について子宮内膜癌に関する検討はほとんどありません。そこでこれらの蛋白質が細胞診の新規バイオマーカーの候補となり得るかを明らかにするため、この研究を計画しました。</p>
<b>方法</b>	<p>本研究は、切除標本のパラフィン包埋切片、残余検体を用いて、免疫染色、RT-PCRなどを行い、細胞診非癌例と癌例あるいは非癌部内膜組織と癌組織における各マーカーの発現の異同を検討します。その上で、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、性別 年齢 既往歴 家族歴 生活歴 検査結果 病期 追加手術、追加治療、術後経過など です。</p> <p>(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
<b>共同研究機関</b>	特になし
<b>試料・情報の管理責任者</b>	広島大学病院 病理診断科 教授 有廣 光司
<b>個人情報の保護について</b>	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
<b>問合せ・苦情等の窓口</b>	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5590</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 病理診断科 大学院生 關 義長 教授 有廣 光司</p>